

群馬銀行の活動

営業戦略

店舗

有望マーケットへの経営資源の投入など地域戦略を明確化し、効果的な営業態勢を構築してまいります。

■「荻窪支店」の開設

平成26年12月、当行151番目の店舗として「荻窪支店」が誕生しました。営業エリアの中心となる武蔵野市、三鷹市、杉並区は、自然・住まい・産業が調和し発展を続けている成長エリアです。

今後はJR中央線荻窪駅徒歩1分の好立地を生かし、競合金融機関がひしめく東京都西部で、法人・個人のお客さまとのリレーションを図りながら、幅広いニーズに対応すべく営業活動を行ってまいります。



テープカット



店舗外観

法人のお客さまへの取組み

成長支援や海外展開ニーズへの対応、企業再生支援の充実など、企業のライフステージに応じたコンサルティング機能の強化により、企業サポートの充実を図ってまいります。

■「ぐんぎんビジネスサポート大賞」による事業化支援

新たなビジネスチャンス創造の場を提供し、地域経済の活性化、地域貢献を図ることを目的に「ぐんぎんビジネスサポート大賞2014」を開催いたしました。平成26年10月1日から同年11月30日まで募集を行った結果、217件の事業プランの応募をいただきました。厳正なる審査の結果、優秀賞2件、奨励賞8件、特別賞2件、絹産業振興賞1件の受賞プランを決定いたしました。

応募プランについては、平成27年5月に設立した「ぐんぎんビジネスサポートファンド」などを積極的に活用し、事業化から事業拡大に向けた支援を行ってまいります。



表彰式

■「中小企業活性化支援サービス」の開始

平成26年4月より、取引先の本業支援を行うことを目的に「中小企業活性化支援サービス」を開始いたしました。中小企業基盤整備機構および群馬県産業支援機構と連携し、企業の課題やニーズにあった外部専門家を紹介するサービスです。

平成26年度は、200件を超える相談があり、約20件の外部専門家を紹介し、企業の抱える課題解決に取り組みました。

また、平成26年12月には、本サービスの発展型として人材のマッチングを行う「ぐんぎん新現役交流会」を開催いたしました。



ぐんぎん新現役交流会

■「医工連携」への取組み

医療関連機器産業を県内企業の柱に育て地域活性化に結びつけるため、医療機関・介護事業者のニーズとものづくり企業の技術力のマッチングに取り組んでおります。

平成26年度は群馬県内3か所の医療施設・介護施設でのものづくり企業を中心とした現場見学会を開催し、施設見学や施設スタッフとの意見交換を行いました。また、平成26年11月には、資金面での支援を図るため、医療産業の振興に資するものづくり企業を投資対象の中心とした「ぐんま医工連携活性化ファンド」を設立いたしました。



医療施設の現場見学会

■海外展開支援セミナーの開催

お客さまの海外展開を支援するために、海外展開支援セミナーを随時開催しております。

昨年度は、平成26年5月にインドネシアの提携銀行へ派遣している行員を講師とした「インドネシアセミナー」を、平成27年3月にはハラルの基本知識やイスラム教徒の観光誘客サポートのための「ハラル対応セミナー」を開催いたしました。

今後も、海外展開に関する情報をタイムリーに提供し、お客さまの海外におけるビジネスチャンスをサポートしてまいります。

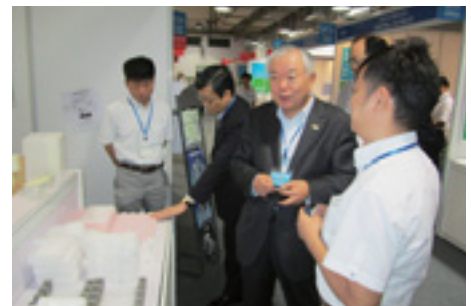


ハラル対応セミナー

■海外での商談会への参加

お客さまの調達先・販売先拡大ニーズをサポートするために、海外での商談会に積極的に参加しております。

上海では、「FBC上海2014（日中ものづくり商談会）」や関東地銀3行（当行、横浜、常陽）による「中国ビジネスセミナー」へ、タイでは、提携銀行であるカシコン銀行主催の「ワールド・ビジネス・シンポジウム・アンド・メガマッチング2014」へ、香港では、現地拠点を有する地方銀行16行と共催した「香港・華南地区日系企業ビジネス交流会」へ参加いたしました。



日中ものづくり商談会（お取引先ブース）

■フィリピン投資環境視察団の派遣

平成27年1月22日から25日まで、当行初の海外視察団である「フィリピン投資環境視察団」を派遣いたしました。

業務提携先であるメトロポリタン銀行からのフィリピンの国内事情の説明、現地進出の日系企業の現状視察、現地企業とのビジネスマッチングの実施など、現地でビジネス展開を検討しているお客さまへサポートを行いました。

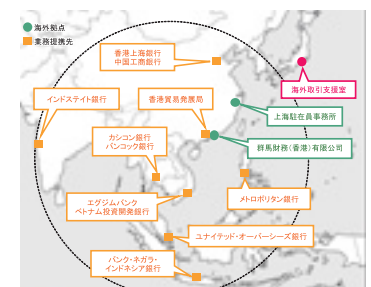


メトロポリタン銀行 ティー頭取（左）と齋藤頭取

■海外における直接サポート体制の強化

平成26年7月にシンガポールのユナイテッド・オーバーシーズ銀行と業務提携を行い、業務提携銀行は7か国10行（平成27年3月末現在）となりました。

なかでも、お客さまの進出が多いタイのカシコン銀行に2名、インドネシアのバンク・ネガラ・インドネシアに1名の行員を派遣し、お客さまの海外ビジネスを現地で直接サポートする体制を整備しております。



アジア地域の海外ネットワーク

■「新入社員講習会」の開催

平成27年4月、群馬県の前橋・高崎・太田の3か所で「新入社員講習会」を開催いたしました。

本講習会は、主にお取引先の新入社員を対象に、企業の人材育成や、取引深耕・拡大のため毎年開催しているもので、本年で40回目となります。

講習会では、ロール・プレイングを中心とした初歩的なビジネスマナーの習得、「社会人としての心構え」をテーマとした外部講師による講演、受講生参加型のグループワークを行い、大変ご好評をいただいております。



新入社員講習会

個人のお客さまへの取組み

取引や属性の変化を捉えたマーケティングの強化やライフステージに応じたコンサルティングの充実とともに、ダイレクトバンキングの充実を図ります。

■資産運用ご相談窓口の設置と各種セミナーの開催

お客さまのさまざまな運用ニーズにお応えできるよう「資産運用ご相談窓口」を営業店に設置しております。各種運用商品をご案内する窓口専担者を配置して店頭販売体制を強化するとともに、「スキル認定制度」を活用した販売員のスキル向上を図っております。

また、初めての方にもわかりやすく運用商品をご案内する「資産運用セミナー」や既に投資信託商品をお持ちのお客さまに対しての「運用報告会」を随時開催しております。



資産運用セミナー

■タブレット端末の活用

資産運用に関する提案力向上を図るため、タブレット端末を導入しております。

タブレット端末を活用することにより、店舗外でも資産運用のご相談に必要なマーケット情報やファンド情報をタイムリーにご提供することができます。また、各種の情報を図やグラフで表示することにより、わかりやすいご説明やご提案が可能となります。



タブレット端末の活用

■「ポートフォリオ分析システム」による コンサルティングサービス

資産運用業務において、「ポートフォリオ分析システム」を活用したコンサルティングサービスを行っております。

本システムにより、お客さまの金融資産の現状診断を行い、資産運用の状況についてご説明いたします。また、お客さまが保有資産の見直しを行った場合のシミュレーションを行い、お客さまの運用方針にあった投資信託をご提案いたします。



ポートフォリオ分析

■「相続定期預金特別金利プラン」の取扱開始

平成27年4月、「相続定期預金特別金利プラン」の取扱いを開始いたしました。

本プランは、金融機関（他行も含みます）での相続手続き完了後1年以内に、相続により取得した資金を原資として定期預金にお預入れいただいたお客さまに対して、金利を上乗せするものです。



■「リバースモーゲージ『夢のつづき』」の取扱地区拡大と商品性の改定

平成27年5月、「リバースモーゲージ『夢のつづき』」の取扱地区を群馬県・埼玉県から東京都や栃木県をはじめとした当行全営業エリア（ただし、大阪府を除く）へ拡大いたしました。

また、対象住宅にマンションを加えたほか、年齢条件等を一部見直すなど、さらに利用しやすい商品へ改定いたしました。

今後も、充実したセカンドライフを応援する金融商品のご提供、サービスの向上に努めてまいります。



■「個人ローン契約書作成サポートシステム」の導入

住宅ローンや無担保保証書貸付ローンの契約書類へのお客さまがご記入する負担の軽減を図るため、平成26年11月より「個人ローン契約書作成サポートシステム」を導入いたしました。

本システムは、ローン審査の情報などをもとに、お客さまごとの約定内容や契約規定の内容を印字して契約書類を作成するシステムであり、これによりお客さまの契約書類への記入負担の軽減を図っております。

また、本システムにより、営業店における契約書類の事前準備やお客さまにご記入いただいた内容を確認する時間の短縮を図っております。

■《GBダイレクト》インターネットバンキングのリニューアル

平成27年3月、既存のサービスに加えて、投資信託取引もインターネットバンキングからご利用できるようになりました。

これまで投資信託取引は、インターネットバンキングとは別の投資信託取引用のサービスをご利用いただく必要がありましたが、インターネットバンキングに機能をまとめたことで利便性が向上いたしました。



■カードローン「ナイスサポートカード」のリニューアル

平成26年11月、カードローン「ナイスサポートカード」のお借入限度額を500万円から800万円、お借入利率の下限を年6.8%から年2.8%に変更し、より多くのお客さまのニーズにお応えできるようリニューアルいたしました。

「ナイスサポートカード」は、ご来店不要で契約でき、当行ATMのほか、全国のコンビニATM（セブン銀行、イーネット、ローソン）でもご利用いただけます。



■教育ローン新商品の取扱開始

平成27年1月、新たに教育ローン2商品の取扱いを開始いたしました。

「教育ローン（カードローン型）」は、在学中の必要額をお借入れ枠としてご予約いただき、専用カードにより都度ATMでお借入れいただけます。

「教育ローン（証書貸付型）」は、医学部や薬学部などへの進学ニーズにも対応できるよう、ご融資可能額の上限を3,000万円といたしました。

そのほか、両商品とも「団体信用生命保険」に保険料不要（群馬銀行が負担します）でご加入いただけるなど、よりあんしん、便利にご利用いただける商品といたしました。



経営基盤戦略

IT・事務戦略

IT戦略の強化やシステムインフラの整備を図るとともに、業務プロセス改革により効率的な業務運営態勢の構築を図ってまいります。

■業務効率化に向けたプロジェクトの発足

●「BPR実装化プロジェクト」の発足

BPRとは「ビジネス・プロセス・リエンジニアリング」の略で、単なる業務改善にとどまらず、業務プロセスや業務処理方法を再設計し、生産性を飛躍的に向上させることをいいます。本プロジェクトでは、営業系の抜本的な事務改革を実施し、営業店を「事務の場」から「セールスの場」へ変革させることをめざしております。



●「融資業務効率化プロジェクト」の発足

平成26年6月に発足した融資業務効率化プロジェクトでは、与信管理の充実とお取引先企業の真のニーズや経営課題をとらえた質の高い営業活動の実現をめざし、融資業務の抜本的な効率化と営業情報基盤の整備を図ってまいります。

経営管理・資本戦略

収益力強化に向けてローコスト経営を追求し、自己資本比率規制を踏まえた自己資本の充実を図る一方、連結収益力向上や適時・適切な株主還元などの株主価値の向上を図る取組みにより、バランスある自己資本の充実と株主還元をめざしております。

■連結収益力向上への取組み

平成25年度に、連結決算で持分法を適用している株式会社群馬カードおよびぐんぎんシステムサービス株式会社の株式の一部を直接買い取ったのに続き、平成26年度には群馬信用保証株式会社の連結グループ持分を引上げ、連結収益力の向上を図りました。

■自己資本比率（平成27年3月末）

当行は、銀行を規制する国際ルール（バーゼルⅢ、国際基準行）において、自己資本比率8%以上であることを要しますが、連結総自己資本比率は平成27年3月末に13.45%と規制比率を十分上回る水準を確保しております。

■株主還元方針

○株主還元については、「安定的な配当を実施するという基本方針に、業績連動の色合いを加味し、配当性向は25%中心」という配当方針に基づく配当金に加えて、株主還元としての自己株式取得を継続的に実施しており、配当と自己株式取得を合わせた株主還元率は35%強の実績を維持してきました。

○平成28年3月期には、これまで以上に業績連動型の株主還元を実施するため、利益配分の方針を配当方針から株主還元方針へ変更いたしました。

なお、今後の株主還元方針は以下のとおりです。

財務体質の強化に努めるとともに安定的な配当を継続する基本方針の下、業績連動型の株主還元を実施します。配当と自己株式取得額を合わせた株主還元率は、当面、単体当期純利益の40%を目安とします。

■株主優待制度

当行株式1,000株以上を有する株主さま（毎年3月末基準）を対象とする株主優待制度を有しております。

地元（群馬県・埼玉県・栃木県など）特産品を掲載した専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの特産品をお選びいただけます。

保有株式数	地元特産品
1,000株以上 5,000株未満	2,500円相当
5,000株以上 10,000株未満	4,000円相当
10,000株以上	6,000円相当

リスクマネジメント戦略

コンプライアンスと顧客保護等管理態勢の充実、リスク管理と内部管理態勢の高度化とともに、危機管理態勢の充実強化を図り、リスクマネジメントの高度化に努めてまいります。

■コンプライアンスの充実

●コンプライアンスの基本的な考え方

お客さま、株主の皆さまから高い評価を受ける銀行となるためには、健全な業務運営の基礎となる「コンプライアンス態勢」を確立しなければなりません。当行では、銀行の持つ社会的責任と公共性を強く認識し、コンプライアンスの充実を経営の重要課題ととらえ、法令や社会的規範の遵守の徹底、企業倫理の確立に日々努めております。

取締役会をコンプライアンス最高責任機関とし、コンプライアンスに関わる重要事項については、取締役会の委任を受け、コンプライアンス委員会を設置し審議を行っております。また、全部店にコンプライアンス統括責任者および担当者を配置し、コンプライアンスの意識醸成や教育指導により全員への徹底を図っております。

■リスク管理の充実

●リスク管理の基本的な考え方

金融の自由化・国際化の進展や金融技術・情報技術の発展に伴い、銀行が直面するリスクは、ますます多様化、複雑化しています。このような状況の中、経営の健全性や安定性を確保しながら企業価値の向上を図るために、業務やリスクの特性に応じてリスクを適切に管理し、コントロールしていく必要があります。

当行では、適切なリスク管理の実施を経営の最重要課題の一つとして認識し、取締役会において「リスク管理に関する基本方針」を制定し、この基本方針に則りリスク管理態勢の整備強化に取り組んでおります。

■顧客保護等管理態勢の充実

●お客さま保護の取組み

お客さまの保護および利便の向上に向けた当行の基本方針として「顧客保護等管理方針」を公表するとともに、お客さまへの十分な説明やお客さまからの相談・要望・苦情などへの対応などが適切に行われるように各部門に管理担当者を配置して、管理態勢の整備・確立に努めております。

なお、当行は、銀行法上の指定紛争解決機関である一般社団法人全国銀行協会と、苦情対応や紛争解決手続きに関する契約を締結しています。一般社団法人全国銀行協会は、銀行業務に関するお客さまからの苦情の申し出および紛争の解決の申立てについて、公正中立な立場で解決のための取組みを行っております。

<連絡先> 全国銀行協会相談室
電話番号 0570-017109または03-5252-3772
受付時間 9:00～17:00（ただし、土・日・祝休日、12/31～1/3は除きます。）

●振り込め詐欺未然防止に向けた取組み

当行では、お客さまの大切な財産をお守りするため、振り込め詐欺未然防止に向けた対策を実施しております。

1. 店頭やキャッシュコーナーに来店されたお客さまに、注意喚起のためお声を掛けております。
2. 振り込め詐欺被害防止のため、キャッシュカードの機能を以下のように制限することもできますので、お気軽に窓口にお問い合わせください。
 - キャッシュカードを使用した振込機能のご利用停止
 - 振込限度額の引下げ（個人のお客さまは現在100万円の限度額を、1万円から99万円までの範囲で引下げることができます。）

●「振り込め詐欺被害者救済法」への対応

「振り込め詐欺被害者救済法」は、被害者救済の観点から、金融機関の犯罪利用口座に振り込まれ滞留している犯罪被害資金の返還手続きなどを定めた法律です。当行では、振り込め詐欺の被害に遭われた方からのご照会・ご相談を下記のフリーダイヤルでお受けしております。

振り込め詐欺被害者救済法に関する照会窓口 フリーダイヤル 0120-265-654
受付時間 9:00～17:00（ただし、土・日・祝休日、12/31～1/3は除きます。）

組織・人材戦略

提案力の強化に向けて専門知識や実践力を備えた行員を育成するとともに、女性の能力活用や高齢者層の活躍支援により組織活力の向上に努めてまいります。

■専門知識と実践力を備えた行員の育成

行員教育体制の強化を目的として設置した「ぐんぎん金融大学校」を通じて、業務スキル習得支援に取り組んでおります。

「ぐんぎん金融大学校」では、業務担当者が求められるスキルを体系的に習得できるように、分野ごとに研修カリキュラムを組み立てています。また、自主参加の週末講座、支店等に金融大学校講師が赴き講義を行う出前講座も実施しております。



週末講座

■多様な人材活用による組織活力の向上

●女性活躍の推進

女性管理職の登用にに向けた計画的な育成プログラムの実施や営業推進部門への積極的な配置、育児休業者に対する職場復帰支援セミナーの実施など、女性の能力を最大限に引出せる職場づくりに取り組んでおります。

さらに、女性活躍を進めるため、「女性活躍促進委員会」を設置し全行横断的な取組みを行ってまいります。また、女性主体の活動組織として「女性専門チーム」を立ち上げ、「就業継続支援」「キャリアアップ支援」「意識改革」などについて、女性目線での課題解決に努めてまいります。



女性活躍推進に向けた意見交換会

●高齢者層の活躍支援

56歳以降の業務職や定年後再雇用者（シニアスタッフ）には、長年の勤務により培ってきた経験や知識を業務に生かしてもらうよう活躍の場を提供し、組織・人材の活性化を図っております。

地域社会への貢献

地域経済活性化に向けたお取引先の創業・新事業支援や経営支援などにより地域密着型金融を推進するとともに、環境方針に基づく環境保全活動や文化・芸術・スポーツ振興など社会貢献活動により地域社会へ貢献してまいります。

■金融円滑化への対応

「金融円滑化に関する基本方針」に基づき、お客さまからの新規のお借入やご返済条件の変更などに関するお申し出には適切に対応するとともに、中小企業や小規模事業者のお客さま個々の経営課題の解決に向けて積極的なサポートに努めております。

■経営改善支援・事業再生への取組み

取引先企業への業績改善へ向けた支援に積極的に取り組んでおります。

経営改善計画策定の指導や当行ネットワークを活用した販路開拓支援などの経営改善支援に加え、取引先企業の経営状況に応じ、中小企業再生支援協議会や地域経済活性化支援機構などと連携を図っております。

また、DDS（資本金借入金）を活用した抜本的な再生支援やABL（動産・債権担保融資）による再生支援先の資金繰り支援などにも取り組んでおります。

平成26年度取組実績

中小企業再生支援協議会への新規持込	7件
地域経済活性化支援機構の活用	1件
DDS（資本金借入金）の活用	4件
ABL（動産・債権担保融資）の活用	2件

地域の活性化に関する取組み

● 地方創生への取組み

「地方創生」を当行営業基盤の維持・強化のための最重要課題ととらえ、地方創生への取組みに積極的に対応してまいります。

また、地方公共団体による「地方版総合戦略」の策定・推進に積極的に協力するため、行内の地方創生推進体制を整備し、地方公共団体を担当する支店の支店長を地方創生推進窓口責任者とし、地方公共団体との円滑な連携を図るとともに、本部・支店一体となり、当行が持つ情報やノウハウなどを活かした具体的な提案を一層充実させるなどの取組みを行ってまいります。

● 「ぐんぎん経営倶楽部」の活動

地元企業の皆さまへの情報提供や地域を越えた交流の場を提供することを目的として発足した「ぐんぎん経営倶楽部」は、平成27年4月末には5,722社の多くの企業にご入会いただいております。平成26年度では、会員向けメールマガジンを50回発信、テーマ毎の勉強会を8回開催し、延べ450名以上の会員にご参加いただきました。

また、次世代を担う若手経営者および後継者を対象に「ぐんぎん経営塾」を開催。平成27年度で3期目となり、修了生の同窓会を発足させるなど、次世代後継者育成支援にも長期的に取り組んでおります。



平成26年度「第2期ぐんぎん経営塾」

● 「常陽銀行・足利銀行との地域連携事業」の開催

平成27年6月、栃木県宇都宮市にて、当行・常陽銀行・足利銀行の3行共催で食の商談会「アグリフードフェスタ2015in宇都宮」を開催いたしました。

北関東自動車道開通により群馬県、栃木県、茨城県の商流・物流が活性化するなか、3行が協力して取組むことで経済圏の拡大を後押しし、地域企業の活性化につなげていくことが目的です。

当日は320社が出展、来場したバイヤーは約3,200人にのぼりました。当行のお取引先は約100社が参加し、バイヤーに向けて自慢の逸品をPRしました。

また、平成27年3月から、3行の営業店に3県の観光パンフレットを配置する「地域の魅力PRコーナー」を設置しております。当行では127か店に設置し、3県のPRに取り組んでおります。



オープニングセレモニー（左から常陽銀行 寺門頭取、当行 齋藤頭取、足利銀行 松下頭取）



アグリフードフェスタ2015 in 宇都宮

● 当行バレーボール部のVリーグ機構への準加盟とチーム名「グリーンウイングス」の決定

当行バレーボール部は平成27年度より日本バレーボールリーグ機構（Vリーグ機構）に準加盟し、それに伴いチーム名を公募により、「群馬銀行グリーンウイングス」とし、また、チーム名を織り込んだロゴマークを決定いたしました。

今後は国体本大会出場やV・チャレンジリーグでの勝利をめ

ざして活動していきます。また、これまで同様、バレーボール教室やママさんバレーボール大会「ぐんぎん杯」の開催などを通して地域社会への貢献活動も積極的に行ってまいります。



チーム名発表記者会見



バレーボール部集合写真

●通帳・キャッシュカードへの「ぐんまちゃん」デザインの導入

平成26年4月に総合口座通帳・自動積立定期預金通帳およびICキャッシュカードに、同年11月には普通預金通帳に「ぐんまちゃん」デザインを導入いたしました。従来からある「GB」デザインの通帳・ICキャッシュカードも今までどおり選択可能です。

普通預金通帳の運用が始まる前日に「ぐんまちゃん」がゆるキャラ®グランプリで優勝したため、当行の「ぐんまちゃん」通帳・ICキャッシュカードは、お客さまの年齢層を問わず大変ご好評をいただいております。「ぐんまちゃん」デザインの導入により、当行を身近に感じていただき、併せて群馬県のPRにも貢献できればと考えております。



普通預金通帳

●「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界文化遺産登録に伴う取組み

「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産登録されたことに伴い、地元の観光振興などを目的にさまざまな取組みを実施しております。

当行と委託会社がそれぞれ収受した信託報酬の一部を「富岡製糸場と絹産業遺産群」保護のために寄付を行う投資信託「富岡製糸場・絹産業遺産群保護活動応援ファンド 愛称:群馬の絹遺産」を取扱っております。また、県内外にPRするため、「群馬県が誇る世界遺産」をコンセプトに作成したメッセージロゴを名刺に印刷したほか、全営業店において、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の歴史的な意義や、建物、構造物などを紹介するDVDをロビーで放映しポスターを掲示しました。



東京支店外壁のポスター

■環境保全活動への取組み

●環境金融商品の提供

当行と委託会社がそれぞれ収受した信託報酬の一部を公益財団法人尾瀬保護財団へ寄付する投資信託「自然環境保護ファンド 愛称:尾瀬紀行」を取扱っております。

尾瀬の自然環境を後世まで永く守り続けることを目的とした当投資信託の販売・運用を通じて、地域社会の発展に貢献するとともに、尾瀬の自然を愛する全国の皆さまのお力になってまいります。



寄付金贈呈式

●「ぐんぎんの森」の整備活動

環境保全活動の一環として、群馬県と締結した「県有林整備パートナー事業実施協定」により指定された森林を「ぐんぎんの森」と命名し、整備活動を実施しております。

平成27年4月には、今年度の新入行員109名が間伐・枝打ち作業を行いました。当行は今後も「ぐんぎんの森」で森林整備・環境教育活動を継続してまいります。



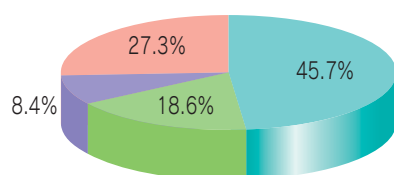
活動前に記念撮影

■主要業務における地域取引

当行は群馬県、埼玉県および栃木県を営業の主たる地域である「基幹地域」として位置づけております。この地域における貸出・預金業務の残高の占める割合は以下の通りです。

総貸出残高に占める地域の割合(平成27年3月)

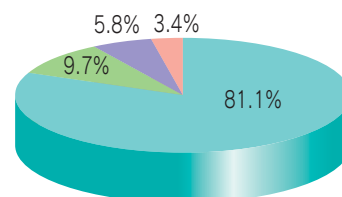
■群馬県 ■埼玉県 ■栃木県 ■その他



基幹地域合計=72.7%

総預金残高に占める地域の割合(平成27年3月)

■群馬県 ■埼玉県 ■栃木県 ■その他



基幹地域合計=96.6%